

🌍「世界がもし100人の村だったら」 ～その”村”の現代の土地について考える～

学校名: 逗子市立池子学校 名前: 小林寿夫

対象	4年生	単元名	
科目	総合・道徳	「自他への愛 ～命の大切さ～」	
時間	道徳:2時間	目標	
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』、『世界がもし100人の村だったら』、『世界一貧しい大統領ホセ・ムヒカ』他	その1 「世界がもし100人の村だったら」を視聴し、世界の状況を理解することができる。 その2 『世界一貧しい大統領ホセ・ムヒカ』の資料から、“豊かさ”と“貧しさ”について考えることができる。 その3 2000年から世界がどのように変わってきたのかを知り、これからの世の中に必要なことを考えることができる。	

期待できる学習効果

- ・その1 「自から他へ」自己中心的・利己的な視点から視野を広げ、他者や利他的な意識を持てるような変容が見られることを期待したい。自国と他国、文化や制度、法律・歴史の違いなどに目を向け、視野を広げたい。
- ・その2 「豊か＝お金持ち」という構図ではなく、「満足しない」、「欲が付きにくい」という人の弱き心の弱みに気付くことで、他者との関わりや万物への愛着・愛情の変化をもつことができる。
- ・その3 世界の状況がどのように変化してきて、これからの世の中に「今、本当に必要なことは何か?」ということを考えるきっかけをもつ。SDGsはじめ、世界のことを考え、行動する意識を養う。

授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

1時間目

目標: ①「世界がもし100人の村だったら」を視聴し、世界の状況を理解することができる。

②『世界一貧しい大統領ホセ・ムヒカ』の資料から、“豊かさ”と“貧しさ”について考えることができる。

導入: 「もしも世界が100人の村だったら」に関わる資料スライドから、クイズなどを交えて、世界の状況について知る。
(スライド: 「もしも世界が100人の村だったら」* 自作資料作成)

・スライド・ワークシート記入後、

動画視聴: 「もしも世界が100人の村だったら」(* 参考資料引用: 英語朗読)

<https://youtu.be/inmwV43xChI?si=mWepggWdd-C-nP03>

展開: 導入時の「ホセ・ムヒカ大統領」の名言の穴埋めについて考え、「豊かさ」について話し合う。

・欲を求め続けた結果の「ゴミで溢れる、海」の写真を見る。産業が生み出す豊かさ、便利さの裏がわでゴミだらけの海岸や町・ゴミの買い取りをする国があることを事実として確認する。

(次時に向けて)

「あおいほしのあおいうみ」の本の紹介

🌍「世界がもし100人の村だったら」 ～その”村”の現代の土地について考える～

学校名: 逗子市立池子小学校 名前: 小林寿夫

授業内容2

2時間目

導入: 児童実態に応じて「あおいほしのあおいうみ」のページを紹介する。

環境問題の現状として、地球温暖化・砂漠化・海洋問題・酸性雨・食糧難等、課題を確認し、そのなかでも「海洋問題」に焦点をあてて、「あおいほしのあおいうみ」からも環境課題を確認する。

展開

・世の中にある”環境課題”の解決に向けて、全世界が共通して行おうとしてる取り組み「SDGs」について知り、理解を深める。

・SDGsfor school内でもご紹介いただいているインターネットサイトを参照し、

(①NHK作成「SDGsのおぼえ歌」や②ベネッセ・③国連WFP)

①<https://youtu.be/qFo-tEWuV6o?si=Bz3FOzPcKImJBIJx>

②<https://youtu.be/wSQYKS7rRKY?si=DAmKcljdawcj1QrG>

③<https://youtu.be/UoCaAKgFk64?si=gyIaYrW0RXro9CCM> などを紹介する。

* 学年実態や児童実態に応じて。

終末: 自身が調べてみたい課題を選択し、自主課題として取り組んでくる。

子どもたちの反応・感想

・「あおいほしのあおいうみ」の本がとてもきれいで、読んでいてわくわくした！

・SDGsについて学習して、大きなことはできないと思うけど、買い物や食事のときにもできることがあると知って、小さなことでもできることはしたいと思った。

・「ホセ・ムヒカ大統領」の絵本と、「もしも世界が100人の村だったら」を親に買ってもらって喜んでいたら、「あおいほしのあおいうみ」までももらえて、超happyです。たくさん読みます。

・「満足しない」のは貧しいというホセ・ムヒカ大統領の言葉と、対馬の海岸の見開きのページを見たときに、「あ。こうになってしまうのか。」と思った。ものを大切にしていきたい。

